



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成23年12月3日(土)
第2566回 例会
(本年度第19回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

2011-2012年度 国際ロータリー会長 … カルヤン・バネルジー

クラブホームページアドレス◎<http://www.tsuruokarc.org/>

メールアドレス◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(12/20)のメインプログラム

ゲストスピーチ
鶴岡警察署長 柿本 秀陽 様

次週(12/27)のメインプログラム

年末 休会

IM&第2ブロック6クラブ合同例会

12月3日、グラランド・エルサンにおいて立川ロータリークラブホストによるIMと6クラブ合同例会が開催されました。細谷ガバナー、石黒IMリーダー、主催者代表清野第2ブロックガバナー補佐はじめブロック内から95名のロータリアンが出席しました。鶴岡クラブからは20名が参加しました。



「思いやりの心で奉仕を」のテーマで開催されたIMでは鶴岡クラブを代表して本間喜美子会員がクラブで取り組んだ「アイドリングストップ運動」について報告しました。地球温暖化防止のため二酸化炭素の削減は急務の課題であり、私たちが出来る身近なことから始めようと取り組んだこの活動は、2009年丸山地区社会奉仕委員長の時ブロック全体の活動となりました。2010年の地区大会でもアイドリングストップのチラシ、ティッシュペーパー、ステッカーを配布しその啓蒙に努めたことが紹介されました。



このIMで庄内町観光協会専門員、中原浩子氏の「庄内 大好き ～移住者が語る庄内への熱い思い～」という基調講演は参加者に強いインパクトを与えました。

中原氏は広島市の出身、上智大学卒業後、音響機器メーカーに就職し海外営業部でドイツの会社を担当。その後ベネッセに転職、そして結婚。その後転機が訪れ千葉市で英語塾を開設。80人の子供に英語の指導をしていました。毎日忙しい日々の中で2008年9月13日封切られた映画「おくりびと」を観たことが「庄内移住」の契機になりました。映画館には計10回通い、同年10月3日に初めて庄内を訪れ、「移住」までに20回庄内通いをしたと言います。

庄内の何が彼女を魅了したのでしょうか。映画に出てくる鳥海山をはじめとする豊かな自然、そこに暮らす人々、歴史がたまらない魅力だといいます。地元で暮らす人々には感じない(慣れ過ぎて)ことが中原さんには五感で感じられるようです。最初に庄内に来た時感じたことは、「空気に匂いがある」ということ。中原さんは今酒田市在住。庄内町観光

出席報告

会員数	39名
出席	20名
出席率	65.79%
前々回確定出席率	82.05%

■RI会長 カルヤン・バネルジー ■地区ガバナー 細谷 伸夫

■会長/青柳孝治 ■副会長/嶺岸禮三 ■幹事/木村 節 ■会長エレクト/阿部純次
■会報委員会/阿蘇司朗・阿部純次・嶺岸禮三

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館 3階 TEL(0235) 28-3375 FAX(0235) 28-3376



協会の専門員として庄内の魅力を全国に発信しています。中原氏が企画した「横浜ほうきプロジェクト」も素晴らしい成果を生んでいます。

中原氏のモットーは「有言実行」「死ぬこと以外はかすり傷」「神は細部に宿る」「ピンチはチャンス」「絶対にあきらめない！ 負けるもんか」だそうです。英語、フランス語、ドイツ語などを話す国際人、感受性豊かな中原氏の今後に大いに期待し、応援していきたいと思いました。



新そば例会

11月28日、会津若松南ロータリークラブの「新そば例会」に青柳会長以下10名の会員が出席しました。会津のそばの特徴はそのタレにあり。大根の絞り汁に辛み大根と醤油を好みで入れるもの。なかなか癖になりそうな味わいでした。



鶴岡クラブから出席の皆様

新モンゴル高校ジャンジブ校長来鶴

12月1日、ジャンジブ校長が副校長先生と共に来鶴、新モンゴル高校への図書購入に役立ててもらおうと送った支援金に対する御礼に見えられました。



挨拶をするジャンジブ校長



ジャンジブ副校長よりクラブへ新モンゴル高校の絵

委員会報告

◆出席委員会

◎メイクアップされた方々

藤川享胤・早寄 弘・本間喜美子・牧 衛
西川富美子・佐藤孝子・塚原初男

